

「まちづくり総合計画」及び「復興計画」に基づく主な事業

1 「人」

○町民検診事業	30,390千円
○ヘルスステーション設置運営事業	9,120千円
○中学生海外派遣事業	10,201千円
○総合型地域スポーツクラブ設立準備事業	6,840千円
○三鷹市管弦楽団招聘事業	1,063千円

2 「支えあい」

○行政区活動支援事業	4,506千円
○森林環境税交付金事業	2,437千円
○元気な高齢者活動事業	11,655千円
○自然環境保全事業	7,580千円
○再生可能エネルギー推進事業	210千円

3 「子ども」

○第3子以降幼稚園・保育園無料化事業	1,380千円
○子ども医療費助成の充実事業	62,408千円
○児童生徒サポート体制確立事業	39,929千円
○特色ある子ども教育推進事業	6,313千円
○学力向上対策事業	5,730千円

4 「仕事」

○企業誘致促進事業	24,047千円
○中小企業事業者支援事業	17,825千円
○商業活性化対策推進事業	1,600千円
○地域観光再発見事業	2,135千円
○日本型直接支払交付金事業	9,450千円

5 「暮らし」

○寄附講座設置支援事業	30,000千円
○神田西線等の道路整備事業	246,851千円
○橋りょうの長寿命化修繕計画事業	23,000千円
○若者定住促進事業	9,225千円
○災害対応力整備事業	58,445千円

6 「想像実現のために」

○まちづくり団体支援事業	2,810千円
○土地家屋所在図整備事業	5,616千円
○地域主権体制検討事業	3,348千円
○第6次まちづくり総合計画策定事業	4,000千円
○公共施設マネジメント計画推進事業	3,000千円

7 「復旧・復興のために」

○除染対策事業	2,278,957千円
○ホールボディカウンター検査事業	3,020千円
○災害公営住宅整備事業	1,175,632千円
○矢吹産農産物PR事業	9,186千円
○中心市街地復興・街づくり推進事業	19,766千円



平成26年度予算が成立しました。

一般会計102億5,000万円で前年度より9億700万円の増。

平成26年度は、復興計画に基づく復興期（平成26～29年度）の初年度と位置付けています。復旧から復興への実感を目指す年として、住民サービスの向上、新たな地域づくりと地域活力の実現を積極的に行うため、様々な施策を盛り込んだ予算を編成しました。

「みんなで支え創造する私のふるさと さわやかな田園のまち・やぶき」の実現へ向け、平成26年度のまちづくりを進めていきます。

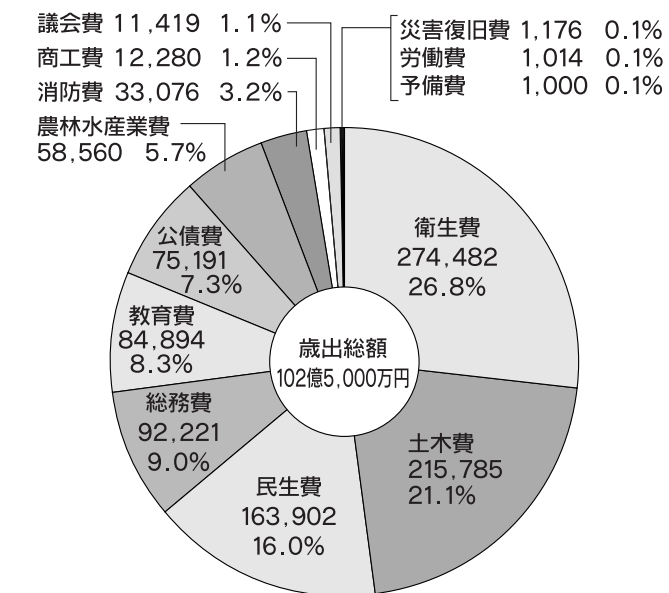
企画経営課 ☎(42)2112

予算

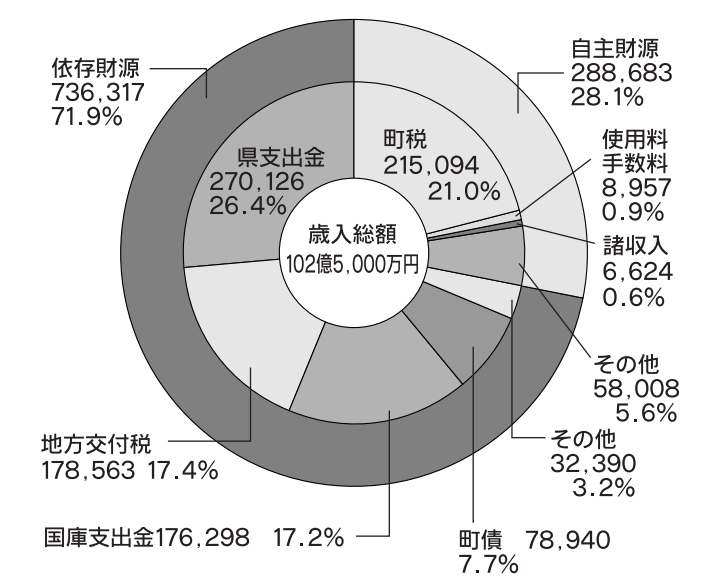
町では、復興計画の最重点課題として残る「除染計画に基づく町内全域の除染」「原子力損害賠償紛争審査会において決定された中間指針の撤回」「中心市街地復興・街づくり推進事業」「防災体制の再構築」の実施に力点を置き、町民の皆さんへ安全で安心した生活環境の確保を第一に、将来への夢と希望に溢れた“復興”に向かって行政運営を展開してまいります。

一般会計

【歳出予算の概要】〔単位：万円〕



【歳入予算の概要】〔単位：万円〕



第5次まちづくり総合計画と復興計画に位置付けられた事務事業を確実に推進し、震災以前以上の活力あるまちづくりを目指した取り組みを実施していきます。

歳出予算が使われるお金の目的別に見ると衛生費（除染対策、ゴミ処理、各種検診、予防接種等に要する経費）が最も大きな額となり、続いて、土木費（道路や公園の整備、公営住宅等に要する経費）、民生費（高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉等に要する経費）、総務費（全般的な管理経費や自治振興等に要する経費）、教育費（幼稚園・保育園・小中学校等に要する経費）、公債費、農林水産業費の順となっています。なお、主な事業については、次ページのとおりです。

歳入の根幹である個人町民税については、震災復興による需要増の影響等で営業所得等の増収を見込んでいます。また、固定資産税についても、家屋の新築住宅等の増加により増収を見込んでいます。

県支出金については、JR東北本線西側を中心とした除染対策事業に伴う除染対策交付金、森林の除染や環境整備に伴うふくしま森林再生事業補助金等により増額を見込んでいます。

町の歳入は、町の独自収入である「自主財源」と、国や県から配分されるものや借入金等の「依存財源」とに分けられます。

自主財源は、28億8,683万円、歳入全体の28.1%、依存財源は、73億6,317万円、歳入全体の71.9%となりました。

それぞれの財源の主なものとして、自主財源である町税が前年比7.0%増の21億5,094万円、依存財源である県支出金が前年比9.6%増の27億126万円となっています。

水道事業会計

（単位：千円、%）

区分	平成26年度 予算額	増減率
収益的収支	収入	428,847 △ 5.3
	支出	464,003 △ 0.2
資本的収支	収入	31,917 5.0
	支出	197,597 6.7

※資本的収入額が資本支出額に対し不足する額165,680千円は、当年度消費税資本的収支調整額2,856千円、過年度分損益勘定留保資金54,271千円、当年度分損益勘定留保資金108,553千円で補てんする。

特別会計

（単位：千円、%）

区分	平成26年度 予算額	増減率
国民健康保険特別会計	2,090,260	△ 0.4
公共下水道事業特別会計	567,216	10.8
土地造成事業特別会計	568	0.0
農業集落排水事業特別会計	203,347	1.1
介護保険特別会計	1,312,795	21.9
後期高齢者医療特別会計	147,318	7.3